

フォローアップ報告書作成の手引き

フォローアップ報告書作成の手引き

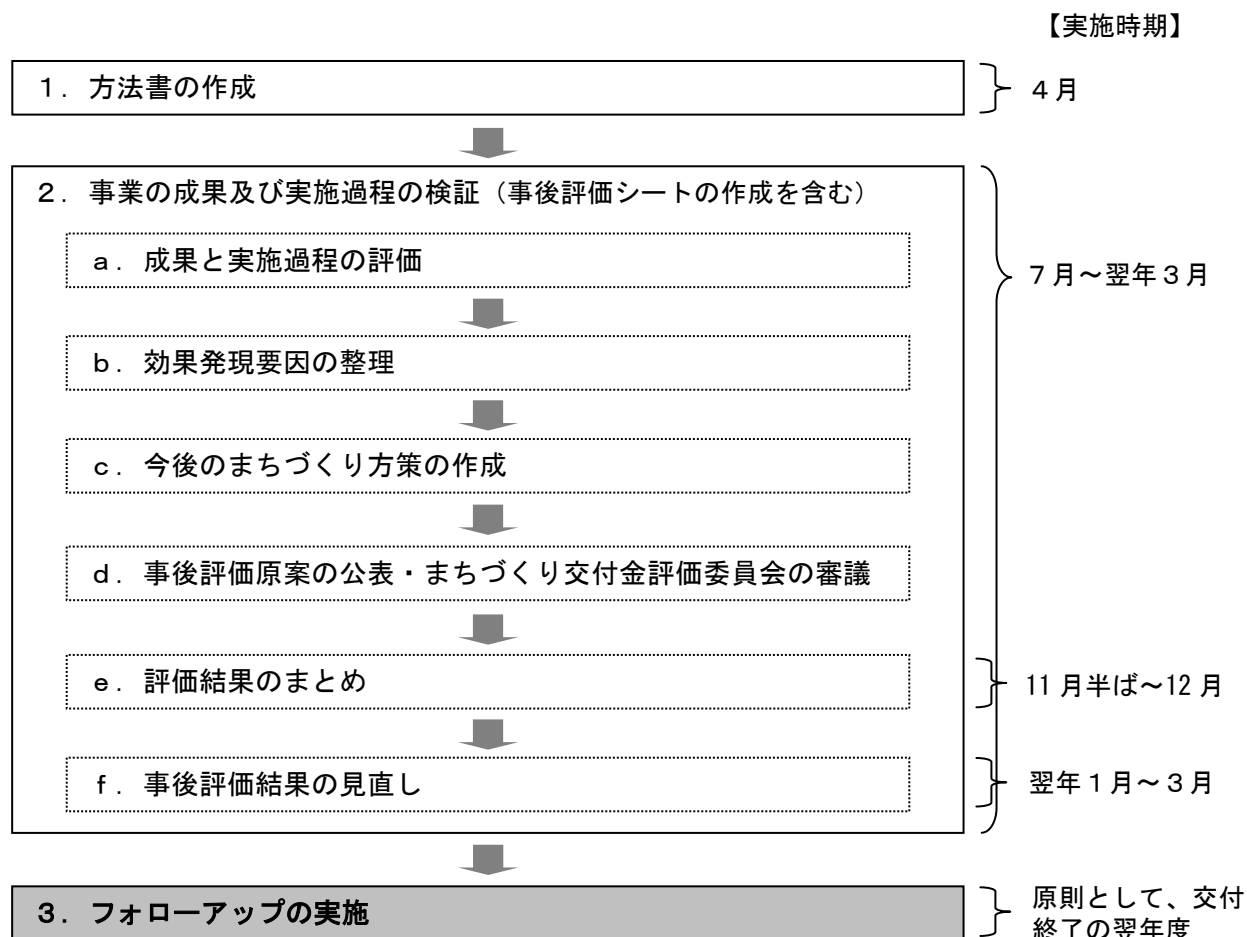
フォローアップ報告書作成の手引き

1. 本手引きについて 9-1
2. フォローアップの実施 9-2
 - (1) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定 9-4
 - (2) その他の数値指標の確定 9-4
 - (3) 「今後のまちづくり方策」の進捗状況 9-6
 - (4) フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策 9-6

1. 本手引きについて

この手引きは、事後評価の手続きのうちの「フォローアップの実施」(図1の網掛け部分)について、その手順を取りまとめたものです。

本手引きを参考にフォローアップを実施し、フォローアップ報告書を作成して下さい。



■図1 事後評価手続きの手順と概要フロー

2. フォローアップの実施

フォローアップは、次の場合に実施します。

- 数値目標の達成状況について「見込み」で評価を実施した指標について、「確定値」の計測
- 交付終了後1年以内に達成見込み「あり」とした指標について、「確定値」の計測
- 今後のまちづくり方策において「改善策」を必要とする場合

フォローアップは、交付終了後、各指標について「確定値」を計測できる適切な時期に実施して下さい。原則として交付終了の翌年度に実施することとします。

フォローアップ終了後、「様式4 まちづくり交付金 フォローアップ報告書」を取りまとめ、適宜、公表するとともに、国に提出して下さい。公表方法は、事後評価シートの公表に準じて下さい。

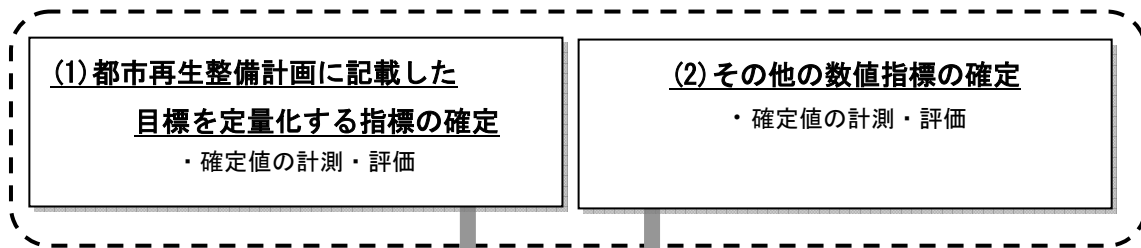
■表1 フォローアップ報告書の作成手順

記入様式	内容	本手引きの掲載頁
1. 数値目標の達成度を確認(確定値)		
(1) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定 (様式4-①)	都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標について、確定値を計測・評価します。	P.9-4～P.9-5
(2) その他の数値指標の確定 (様式4-②)	その他の数値指標について、確定値を計測・評価します。	
2. 今後のまちづくり方策を検証		
(3) 「今後のまちづくり方策」の進捗状況 (様式4-③)	事後評価シートに記入した「今後のまちづくり方策」について、「成果を持続させるために行う方策」及び「改善策」の進捗状況を確認します。	P.9-6～P.9-7
(4) フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策 (様式4-④)	確定値の計測・評価、及び、今後のまちづくり方策の進捗状況を確認した結果、新たに今後のまちづくり方策に追加すべき事項がある場合に記入します。	

※なお、フォローアップ報告書（提出様式）の提出時には、巻末に都市再生整備計画（最終版）を添付して下さい。

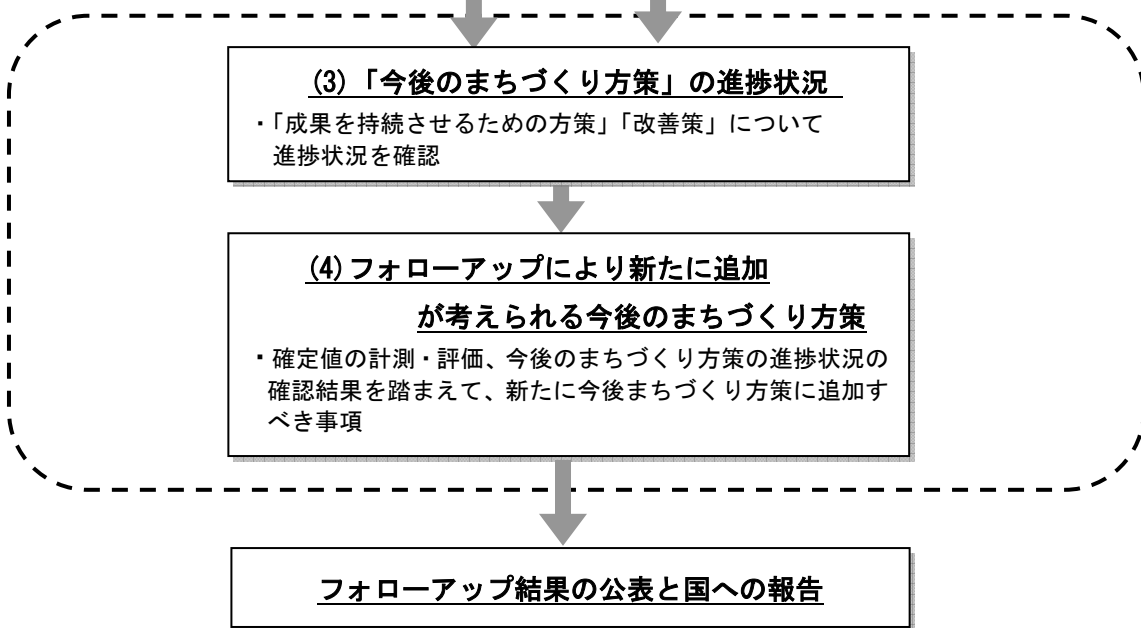
1. 数値目標の達成状況を確認（確定値）

(P. 9-4~P. 9-5)



2. 今後のまちづくりを検討

(P. 9-6~P. 9-7)



■ 図 2 フォローアップ報告書の作成フロー

(1) 数値目標の達成状況の確認（確定値）

(様式4-①)

(様式4-②)

交付終了年度に実施した事後評価において、数値目標の達成状況について「見込み」で評価を実施した指標、及び、交付終了後1年以内に達成見込み「あり」とした指標について、「確定値」の計測し、市町村が事前評価（都市再生整備計画）において住民へ公約したまちづくりの目標の達成状況を確認します。

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

- ◆都市再生整備計画に記載した「目標を定量化する指標」について、フォローアップの時点で数値目標が達成されたか否かを確認します。
- ◆フォローアップによって計測された「確定値」と、評価値の間に大きな差異がある場合や従前値と比べて改善が見られない場合、あるいは、改善策を実施してもまちづくりの目標並びに数値目標が達成できなかった等の場合には、「今後のまちづくり方策」や「改善策」を再検証して下さい。

様式4-② その他の数値指標の確定

- ◆その他の数値指標について、フォローアップの時点での効果を検証します。
- ◆フォローアップによって計測された「確定値」と、評価値の間に大きな差異がある場合や従前値と比べて改善が見られない場合には、「今後のまちづくり方策」や「改善策」を再検証して下さい。

【記入例】 様式4-①～② 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標及びその他の数値指標の確定

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	コミュニティバスの乗客数	千人/年	200	220	237	確定 見込み	● ○	○	あり なし	235	H21年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	コミュニティバスは市民、観光客の移動の足として好評である。
指標2	中心商店街の歩行者通行量(休日)	人/日	9,000	9,900	9,600	確定 見込み	● △	△	あり なし	10,400	H21年8月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市街地再開発事業と城址公園整備の相乗効果が現れている。
指標3	地区の小売販売額	億円/年	800	880	840	確定 見込み	● △	△	あり なし	855	H22年10月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	Bショッピングプラザの開業があったものの、再開発ビルが商店街再生を牽引している。
指標4	城址公園の来訪者数	千人/年	70	91	95	確定 見込み	● ○	○	あり なし	97	H21年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	公園の再整備と郷土歴史館開館の相乗効果が発揮された。
指標5	地区の居住人口	人	10,200	10,200	9,800	確定 見込み	● △	△	あり なし	9,850	H21年4月	△	予想以上に人口減少が続いた。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	数値目標から低い水準ではあるが、減少抑制という目的は達したと評価できる。

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	地区の小売販売額の対全市シェア	%	23	28	確定 見込み	●	△	△	あり なし	26	H22年10月	△	評価値の見込み推計が甘かった。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	従前に比べると対全市シェアは上がっており、中心市街地の再生は進んでいると評価できる。
その他の数値指標2					確定 見込み	●	△	△	あり なし			△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み	●	△	△	あり なし			△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

①

②

③

④

⑤

① 事後評価結果

……事後評価シートの様式2-1、添付様式2-①、2-②から転記します。
 フォローアップの必要のない指標も含めて、全ての指標について転記します。

② フォローアップによる確定値、計測時期

……フォローアップによる確定値として計測した値とその計測時期を記入します。
 ※フォローアップの必要のない指標については記入不要です。

③ 達成度

……フォローアップ時点での達成度を記入します。
 ※フォローアップの必要のない指標については記入不要です。

評価の基準	達成度
確定値が目標値を上回った場合。	○
確定値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合。	△
確定値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合。	×

④ 確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等

……その理由を考察し記入します。また、改善策が適切であったかどうかを検証した上で、改善策の方向性を示します。「改善策に補強が必要」及び「新たな改善策を立てる」を選択した場合には、様式4-④に具体的な方策を記入します。
 ※フォローアップの必要のない指標については記入不要です。

⑤ 総合所見

……フォローアップ結果を踏まえた総合所見を記入します。
 フォローアップの必要のない指標も含めて、全ての指標について記入します。

(2) 今後のまちづくり方策の検証

(様式4-③)

(様式4-④)

まちづくり交付金の事後評価では、交付終了後も事業の効果を持続させるとともに、未解決の課題については引き続き努力するよう「今後のまちづくり方策」を明らかにします。

ここでは、「今後のまちづくり方策」について、フォローアップ時点での進捗状況を確認し、さらなる改善策等が必要かどうか検討します。

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

- ◆事後評価シート添付資料5-③に記入した「今後のまちづくり方策」について、フォローアップ時点での進捗状況を確認します。

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

- ◆確定値の計測・評価、及び、今後のまちづくり方策の進捗状況を確認した結果、今後のまちづくり方策に新たに追加すべき事項がある場合に記入します。
- ◆特に、確定値が従前値又は評価値と比較して大きく差異がある場合や改善が見られない場合には、今後の方策を検討して下さい。

〔記入例〕 様式4-③～④ 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
・成果を持続させるための行う方策	商店街の賑わいの持続	・商店街やまちづくり会社が主体となって、毎月2回イベント広場でフリーマーケットを開催 ・商業高校の生徒が商店街でインターンシップを開始。	・中心商店街の歩行者量(休日)が、目標10%増しに対し、15%増しになった。 ・商店街と高校生との交流が促進された。	・若い起業者の出店意欲を支援するため、活用していない空き店舗の賃貸利用
	・改善策	Bショッピングプラザの早急な再生	・Bショッピングプラザ建物の市への譲渡について、所有者と交渉。	・空ビルを市民活動センター及びメディカルモールに改装するための資金調達を含めた事業スキームの具体化
・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	都心居住推進のさらなる推進	・都心居住推進事業について、広報掲載。 ・商店街後背の住宅密集地区について、都市再生整備計画の作成。	・建物市が無償譲渡を受けることで交渉が成立した。 ・住宅建設奨励金について、〇件が利用。 ・まちづくり交付金事業を22年度より開始。	・商店街後背の住宅密集地区について、まちづくり交付金事業の円滑な実施を図る。
	駐車場周辺の交通混雑と歩行者の安全確保	・市、警察、商店街、まちづくり会社との協議による駐車場への誘導についてルールづくり。	・駐車場へ円滑に誘導するための標識の設置。	・歩道の確保や駐車場待ち用レーンの設置など、道路改良の推進

①

②

③

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
・大学生、若年社会人等の世代の都心居住を誘導。	・単身若年世代の都心居住支援について、都心居住推進事業の対象メニューに追加する。 (民間賃貸住宅の企業社員寮としての借り上げ支援、支援の見返りに若年社員のまちづくり活動への参加等)	22年度	不動産所有者、企業、地元商店街・自治会との連携強化。

④

① 今後のまちづくり方策(事項)

……………事後評価シートの添付様式5-③から転記します。

② 実施した具体的な内容、実施した結果

……………転記した各方策について、フォローアップ時点で確認した具体的な実施内容及び実施結果を記入します。

③ 今後の課題 その他の特記事項

……………フォローアップ方策をさらに進めていくにあたっての課題や特記事項があれば記入します。

④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

……………フォローアップを実施した結果、新たに追加が必要と考えられる今後のまちづくり方策があれば記入します。

特に、様式4-①または4-②において、確定値が従前値又は評価値と比較して大きく差異がある場合や改善が見られない場合で、「改善策に補強が必要」及び「新たな改善策を立てる」を選択した場合には、この欄に具体的な方策を記入します。

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
記入例

〇〇地区

平成〇年〇月

〇〇県〇〇市

※記入にあたっての留意事項(このページは、提出の際には添付する必要はありません。)

事後評価様式の記入にあたって、下記の点に留意してください。

1. モニタリング(一部の結果)・事後評価・フォローアップの3段階を、様式にご記入いただきます。それぞれの内容・記載要領は、以下のとおりです。
また、記入項目の詳細や記入例については「事後評価シート作成の手引き」を参照してください。

段 階	内 容	時 期	記入欄の 色分け
《第一段階》モニタリング	事業期間中に、実施状況、数値目標の達成状況、効果発現の状況を確認する	交付期間中の 任意の時期	
《第二段階》事後評価	評価項目の計測（見込みの値でも可）、効果発現に関わる要因、今後のまちづくり方策等を整理する	最終年度	
《第三段階》フォローアップ	事後評価時に「見込みの値」としたものに対して、事業終了後に、確定した数値で再度整理する	原則、交付終了の翌年度	

2. 計画変更またはフォローアップなどの際、数値及び文章の修正が必要となった場合は、適宜、欄(枠)を拡張するなどして記入してください。その際、当初計画または事後評価の際に記載した内容(元からの記載内容)は削除せず、消し線を用いて対応してください。

例1)数値等の軽微な修正

【修正前】 ○○整備事業 面積 2,300㎡

【修正後】 2,800㎡

例2)文章の修正

【修正前】 ……するものとし、特に、●●館のイベント等に関する情報を発信していくものとする。

【修正後】 特に、●●館のイベント等に関する最新情報をリアルタイムでHP上から提供していくものとする。

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	コミュニティバスの乗客数	千人/年	200	220	237	確定 見込み ●	○	あり なし	235	H21年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	コミュニティバスは市民、観光客の移動の足として好評である。
指標2	中心商店街の歩行者通行量(休日)	人/日	9,000	9,900	9,600	確定 見込み ●	△	あり なし	10,400	H21年8月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市街地再開発事業と城址公園整備の相乗効果が現われている。
指標3	地区の小売販売額	億円/年	800	880	840	確定 見込み ●	△	あり なし ●	855	H22年10月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	Bショッピングプラザの閉鎖があったものの、再開発ビルが商店街再生を牽引している。
指標4	城址公園の来訪者数	千人/年	70	91	95	確定 見込み ●	○	あり なし	97	H21年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	公園の再整備と郷土歴史館開設の相乗効果が発揮された。
指標5	地区の居住人口	人	10,200	10,200	9,800	確定 見込み ●	△	あり なし ●	9,850	H21年4月	△	予想以上に人口減少が続いた。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	数値目標から低い水準ではあるが、減少抑制という目的は達したと評価できる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	地区の小売販売額の対全市シェア	%	23	/	28	確定 見込み ●	/	/	26	H22年10月	/	評価値の見込み推計が甘かった。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	従前に比べると対全市シェアは上がっており、中心市街地の再生は進んでいると評価できる。
その他の数値指標2	/	/	/	/	/	確定 見込み ●	/	/	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	/
その他の数値指標3	/	/	/	/	/	確定 見込み ●	/	/	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	/

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 成果を持続させるために行う方策 	商店街の賑わいの持続	<ul style="list-style-type: none"> 商店街やまちづくり会社が主体となって、毎月2回イベント広場でフリーマーケットを開催 商業高校の生徒が商店街でインターンシップを開始。 	<ul style="list-style-type: none"> 中心商店街の歩行者量(休日)が、目標10%増しに対し、15%増しになった。 商店街と高校生との交流が促進された。 	<ul style="list-style-type: none"> 若い起業者の出店意欲を支援するため、活用していない空き店舗の賃貸利用
改善策 <ul style="list-style-type: none"> まちづくりの目標を達成するための改善策 残された課題・新たな課題への対応策 その他 必要な改善策 	Bショッピングプラザの早急な再生	<ul style="list-style-type: none"> Bショッピングプラザ建物の市への譲渡について、所有者と交渉。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物を市が無償譲渡を受けることで交渉が成立した。 	<ul style="list-style-type: none"> 空きビルを市民活動センター及びメディカルモールに改築するための資金調達を含めた事業スキームの具体化
	都心居住推進のさらなる推進	<ul style="list-style-type: none"> 都心居住推進事業について、広報掲載。 商店街後背の住宅密集地区について、都市再生整備計画の作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅建設奨励金について、〇件が利用。 まちづくり交付金事業を22年度より開始。 	<ul style="list-style-type: none"> 商店街後背の住宅密集地区について、まちづくり交付金事業の円滑な実施を図る。
	駐車場周辺の交通混雑と歩行者の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> 市、警察、商店街、まちづくり会社との協議による駐車場への誘導についてルールづくり。 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場へ円滑に誘導するための標識の設置。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の確保や駐車場待ち用レーンの設置など、道路改良の推進

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 大学生、若年社会人等の世代の都心居住を誘導。 	<ul style="list-style-type: none"> 単身若年世代の都心居住支援について、都心居住推進事業の対象メニューに追加する。(民間賃貸住宅の企業社員寮としての借り上げ支援、支援の見返りに若年社員のまちづくり活動への参加等) 	22年度	<ul style="list-style-type: none"> 不動産所有者、企業、地元商店街・自治会との連携強化。

都市再生整備計画

まる まる
〇〇地区

〇〇県 まるまる
〇〇市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	〇〇県	市町村名	〇〇市	地区名	〇〇地区	面積	● ha
計画期間	平成 〇〇 年度	～	平成 〇〇 年度	交付期間	平成 16 年度	～	平成 20 年度

目標

大目標 市民と観光客が楽しみ、ふれあうことができる中心市街地の再生

目標1 中心市街地の市民の生活拠点としての機能回復を図る。

目標2 中心市街地の資源を見直して、観光客を中心市街地に誘客する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

〇〇市は、城下町として栄えた〇〇地方の中心都市であるが、昭和40年代以降、市街地の拡大が進行し、郊外型大規模商業施設の立地などにより、相対的に中心市街地の空洞化が進んだ。

しかしながら、将来の人口減少時代、高齢社会の到来を想定すると、郊外拡大型の低密度な都市構造では非効率的であることから、コンパクトシティを目指すこととした。そこで、第〇次総合計画より中心市街地再生を都市づくりの方向性として明確にし、その核となる重点プロジェクトとして、市街地再開発事業による中心市街地の機能更新と、施設が老朽化し時代のニーズに合わなくなっていた城址公園の再整備・歴史文化の再生による交流の拡大を位置づけ、行政、商店街、住民との連携のもと、構想づくりから事業化へと取り組んできたところである。

課題

・重点プロジェクトに位置づけている市街地再開発事業と城址公園の再整備を確実に進展させる必要がある。

・この2つのプロジェクトの進捗に合わせて、公共交通や歩行者空間の整備等を実施し、商店街及び城址公園へのアクセスと回遊性を確保して、人が往来できるようにする。

・賑わいの場を再生するとともに都心居住を推進し、人の姿が見える中心市街地とする。

・舞台装置（ハード）は行政が行い、商店街やまちづくり会社、市民が担い手となり、かつ、まちづくりの成果を享受することが肝要。そのために、ワークショップや勉強会などにより、行政との対話と支援が必要。

将来ビジョン（中長期）

第〇次総合計画では、商業施設や城址公園などをネットワーク化する歩行者動線を整備するほか、沿道における景観整備、市街地再開発による機能更新などにより、〇〇市の核としての拠点整備を進めるとしている。

また、中心市街地活性化基本計画では、各種都市機能の集積、城下町の雰囲気を感じさせる歴史・文化の保全・活用、回遊路となる道路の舗装や街路灯のグレードアップ、まちづくりの勉強等を商店街や行政が協力して実施を図るとしている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
コミュニティバスの乗客数	千人/年	コミュニティバスの年間乗客数	駅や公共施設を経由しながら商店街・城址公園を結ぶ市民の日常生活の足、観光の足。(10%増)	200	平成15年度	220	平成20年度
中心商店街の歩行者通行量(休日)	人/日	××商店街の歩行者通行量(12時間)を計測	魅力ある中心市街地を形成することで、市民、観光客の来街増を図る。(10%増)	9,000	平成15年度	9,900	平成20年度
地区の小売り金額	億円/年	地区の年間小売り商業販売額(商業統計)	中心商店街の売り上げの減少傾向を止め、増加させる。(20%増)	800	平成15年度	880	平成20年度
城址公園の来訪者数	千人/年	城址公園の来訪者数を計測	市民の憩いの場で、歴史文化を知る観光拠点に利用増進により、市民と観光客の交流を図る。(30%増)	70	平成15年度	91	平成20年度
地区の居住人口	人	地区の住民基本台帳人口	都心定住人口の維持を図る。	10,200	平成15年度	10,200	平成20年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(交通利便性の改善・回遊性の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミバスやタウンモビリティ、によって中心市街地へのアクセス向上と中心市街地内の回遊性を増進させる。 ・自動車優先から人間優先の歩行者空間への転換を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちづくり活動推進事業」提案／コミュニティバス社会実験 ・「まちづくり活動推進事業」提案／タウンモビリティ社会実験 ・「道路事業」基幹／市道 ・「地域生活基盤施設」基幹／自転車駐車場 ・「歩行者空間整備事業」提案／歩道・区画街路の整備 ・「高質空間形成施設」基幹／照明・ストリートファニチャー ・「まちづくり活動推進事業」提案／市民ワークショップ
<p>整備方針2(市民と観光客が交流できるしかけづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催や休憩、待ち合わせなどに楽しく時間が過ごせる公共空間を整備する。 ・若い担い手の起業意欲向上と賑わいの連続性を保つ。 ・城址公園、商店街を核として、市民と観光客との交流を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「市街地再開発事業」関連 ・「公園事業」基幹／城址公園 ・「地域生活基盤施設」基幹／イベント広場・情報掲示板・観光案内板 ・「地域創造支援事業」提案／チャレンジショップ整備運営事業 ・「既存建造物活用事業」基幹／城門修景・修理 ・「地域創造支援事業」提案／郷土歴史博物館 ・「高次都市施設」基幹／観光交流センター ・「まちづくり活動推進事業」提案／オープンカフェ社会実験 ・「まちづくり活動推進事業」提案／市民ワークショップ ・「まちづくり活動推進事業」提案／まちづくり勉強会
<p>整備方針3(都心居住の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心居住を推進するために住環境整備と住宅取得支援を進める。 ・民間主体の公的賃貸住宅の供給を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「公園事業」基幹／街区公園・城址公園 ・「都心居住推進事業」提案／住宅建設奨励金 ・「公営住宅等整備」基幹／特優賃・高優賃
<p>その他</p> <p>【交付期間中の住民参加】 交付期間中においては、各種事業を円滑に進め、目標達成に向けた確実な効果をあげるため、市民ワークショップ、まちづくり勉強会を実施し、地元まちづくり協議会やNPO、民間団体との連携協働に配慮しながらまちづくりに取り組む。</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	4,995	交付限度額	1,998	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		市道A線	市	直	330m	17	18	17	18	500	500	500		500
		市道B線	市	直	300m	17	18	17	18	530	530	530		530
公園		城址公園	市	直	5ha	12	22	16	20	2,000	700	700		700
		A街区公園	市	直	200㎡	18	18	18	18	20	20	20		20
		B街区公園	市	直	400㎡	19	19	19	19	30	30	30		30
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		イベント広場、情報掲示板、観光案内板、自転車駐車場	市	直	—	16	20	16	20	1,000	1,000	1,000		1,000
高質空間形成施設		照明・ストリートファニチャー	市	直	—	19	20	19	20	400	400	400		400
高次都市施設		観光交流センター	市	直	150㎡	19	20	19	20	60	60	60		60
既存建造物活用事業		城門の修景・修理	市	直	—	16	17	16	17	80	80	80		80
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
人にやさしいまちづくり事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業														
		拠点開発型												
		沿道等整備型												
		密集住宅市街地整備型												
		耐震改修促進型												
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備		特優賃、高優賃	民間	間	140戸	16	20	16	20	400	400	280	120	280
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										5,020	3,720	3,600	120	3,600

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	郷土歴史博物館整備事業	郷土歴史博物館	市	直	3000㎡	17	20	17	20	550	550	550		550
	歩行者空間整備事業	中心商店街周辺	市	直		16	17	16	17	80	80	80		80
	都心居住推進事業	住宅建設奨励金	市	直		16	20	16	20	500	500	500		500
	チャレンジショップ整備運営事業	××商店街	まちづくり会社	間	300㎡	18	20	18	20	30	30	15	15	15
事業活用調査	事業効果分析事業	中心市街地	市	直		18	20	18	20	15	15	15		15
まちづくり活動推進事業	コミュニティバス社会実験	中心市街地	市	直		18	20	18	20	150	150	150		150
	タウンモビリティ社会実験	××商店街	まちづくり会社	間		18	20	18	20	30	30	15	15	15
	オープンカフェ社会実験	××商店街	まちづくり会社	間		18	20	18	20	30	30	15	15	15
	市民ワークショップ	中心市街地	市	直		16	20	16	20	30	30	30		30
	まちづくり勉強会	中心市街地	市	直		16	20	16	20	25	25	25		25
合計										1,440	1,440	1,395	45	1,395

合計(A+B) 4,995

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
市街地再開発事業		再開発組合	国土交通省	1ha		○			11	19	12,000
合計											12,000